

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1. SOGI で差別されない鶴ヶ島へ（40分）</p> <p>6月はプライド月間です。今年は、プライド月間のきっかけとなった「ストーンウォールの反乱」から55年です。4月には30回目の東京レインボープライドが開催され、私も参加しました。約27万人が参加し、自分と互いの存在を祝福する様子に心が踊り、胸を打たれました。</p> <p>LGBTQ+を取り巻く環境は大きく変化しています。昨年、「LGBT理解増進法」が成立しました。本市も昨年4月から、鶴ヶ島市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を施行しました。</p> <p>社会は着実に前進している一方、偏見や差別的取り扱いは根強く残っています。当事者の生きづらさは解消されていません。LGBTQ+の自殺率はそうでない人の数倍から10倍超に上ることが、宝塚大学の日高庸晴教授の研究を始め、複数の研究で示されています。女性に対する差別や偏見も依然として根強いと感じます。政治や経済分野の責任ある立場に女性が少ない点は、世界経済フォーラムなど国際社会から指摘されています。背景には環境整備の遅れや、性別役割分担意識が根強くあると考えられます。</p> <p>また、トランスジェンダーや女性の貧困率の高さも深刻です。意識改革やサポート体制の充実が必要です。</p> <p>市民が性的指向やジェンダーアイデンティティ、性別を理由に不当な扱いをされず、生きごち良く暮らせるために、本市が果たさなければならない責任は重大です。</p> <p>取り組み状況と検討中の施策について質問します。</p> <p>(1) 児童・生徒や教職員への対応について (2) 市職員への対応について (3) 窓口対応について (4) 女性センターについて (5) 条例や制度、計画について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2. 街頭防犯カメラ設置の妥当性は（20分）</p> <p>本年5月23日から、本市ホームページにおいて「街頭防犯カメラに関するアンケート調査」が始まりました。防犯カメラの設置はこれまで複数の議員が求めてきました。防犯カメラの設置で犯罪率が低下し、市民の安心・安全につながるのであれば歓迎したいです。</p> <p>しかし、防犯カメラの設置には反対意見も聞かれます。防犯カメラは運用を誤ると、市民の生活を見張る「監視カメラ」になりかねないからです。データの流出を心配する声もあるでしょう。犯罪率は下げなければいけません。しかし、市民のプライバシーもまた、絶対に守らなければならないものです。</p> <p>防犯カメラに有効性を持たせるためには、税金がかかり続けます。コストをかけ続け、市民のプライバシーを多少なりとも侵害してまで防犯カメラを設置しなければいけないほど、犯罪率は高まっているのでしょうか。コストとリスクに見合うだけの効果は期待できるのでしょうか。</p> <p>防犯カメラ設置に期待される効果とコストのバランス、市民が負うリスク、犯罪率について、慎重に検討されなければいけません。市民の検討材料にさせていただくために、以下確認します。</p> <p>（1）想定コストについて</p> <p>ア. 想定設置台数と1台あたりの導入コストは</p> <p>イ. 1年間にかかる維持・管理コストは</p> <p>（2）市民のプライバシーについて</p> <p>ア. 録画映像の管理方法は</p> <p>イ. 録画映像を閲覧できる権限者は</p> <p>ウ. 映像流出防止策は</p> <p>（3）妥当性について</p> <p>ア. 平成15年・令和元年と令和5年の刑法犯認知件数の比は</p>	<p>市長</p>